

第一部国際協力分科会（第24期・第2回）議事要旨

日時：2018年4月6日（金）13：00～15：00

会場：日本学術会議 5-A（2）会議室

出席：町村、齋藤、栗田、大沢、杉原、中野、広渡、藤原、矢沢、山本、青木（スカイプ）、西條（スカイプ）【以上、敬称略】

議題

（1） 前回議事要旨（案）の確認

第1回分科会の議事要旨が提示され、確認された。

（2） ISSC の ISC への統合等について

昨年10月に台北で開催された ISSC と ICSU の臨時合同総会において両組織の統合が承認されたことに伴い、法的手続きのために参加団体が公式に1）統合規約の承認と2）ISSC の解散を承認する必要がある。日本学術会議において ISSC 事案を担当する第一部国際協力分科会として1および2を承認した。承認する議論の過程で ISSC と ICSU が統合して ISC を設立し、ISSC としては活動を終了するにあたり、今後の日程（ISSC の最終理事会や ISSC と ICSU の合同理事会、ISC 総会の日程）、確認事項（今後の ISC の態勢、分野バランス、会費納入にあたっての当面のルール）等について報告・紹介および意見交換が行われた。ISC において（人文）社会科学系の学術分野のプレゼンスが適切に維持され、発展していくよう、働きかけを行なっていく必要性が確認された。

（3） WSSF の準備状況について

本年9月に福岡で開催予定の WSSF の準備状況について報告・紹介があった。会議開催後の成果をどのように形にしていくのかをめぐっても意見交換が行われた。

（4） 第一部としての国際協力・発信について

本分科会の今後の活動方針・内容について議論した。国際委員会の ISC 等分科会との分担態勢のあり方、WSSF のこれまでの活動内容の継承の可能性、IFSSO、アジア学術会議、国際歴史学会等との連携・協力の可能性をめぐり、意見交換が行われた。今後の国際的な学術の組織化プロセスの中で、人文社会科学系の学術の充実の発展のため、日本学術会議の第1部を代表する本分科会としてさまざまな取り組みを行なっていく必要性が確認された。

（5） その他

次回の分科会日程や、分科会メンバーの WSSF への参加予定等について協議した。